

「投票弱者」が急増

80歳以上 性病気や体調不良で

さいたま市民 政治意識調査

埼玉大学社会調査研究センターは、さいたま市内の有権者千人を対象に実施した2018年政治意識調査の結果をまとめた。昨年10月に実施された衆院選の投票率をみると、80歳以上の女性が68・89％にとどまり、投票しなかった理由として「病気や体調不良を挙げた人が7割近くを占めた。同センター長の松本正教授は「長命で単身の女性を中心に、さいたま市などの都市部で投票に行きたくても行けない、投票弱者が急激に増えている」とみている。一面に関連記事と調査結果

同調査の結果によると、昨年の衆院選で「投票しなかった」と回答した割合は28％。理由として、「誰かの政党を選んだらいいのかわからない」が32％で最も多かった。「選挙に関心がない」「他の用事（勉強や部活など）があった」「病気がや体調不良」「投票が面倒だった」と8割を占めた。年代別にも、「病気や体調不良」と回答した割合は、18～29歳が3％、70～79歳で最も多かった。80歳以上は67％に上った。投票率は、70～79歳の女性が68・92％で最も高いものの、80歳以上の女性は57％だった。調査は8月、無作為に抽出したさいたま市内の有権者千人を対象に、郵送方式で実施した（回答率62・8％）。

旧大宮、浦和で違い明確

市民政治 市役所の移転是非 意識調査

埼玉大学社会調査研究センターが実施した2018年政治意識調査で、浦和区にあるさいたま市役所の庁舎について「さいたま市役所を移転すべき」との回答は36％だった。地域別では、旧大宮市の住民が55％、旧浦和市の住民が66％と、旧浦和市は旧大宮市よりも移転すべきという回答が多かった。旧浦和市は、さいたま市役所を移転すべきという回答が36％、浦和区から移転すべきではないという回答が34％、旧大宮市は31％、さいたま市役所を移転すべきではないという回答が27％、その他の場所が良いという回答が3％だった。近年では、自治体間のパートナーシップ制度を設ける動きが広がっている。同性間のパートナーに、異性間のパートナーと同等の権利を認めることに対して、どのようにお考えですか。賛成は57％、反対は13％、分からないは30％。【ツールドフランスさいたまクリテリウムをご存知ですか】知っている60％、知らない39％。さいたま市内の18歳以上の有権者千人を対象に、無作為抽出・郵送方式で8月に実施し、628人が回答（回答率62.8％）。

政治意識調査結果

【昨年10月の衆院選で投票しましたか】	投票した	69%	投票しなかった	28%	分からない	2%
【投票した人は投票日に投票しましたか、それとも期日前投票（または不在者投票）をしましたか】	当日投票をした	72%	期日前投票（不在者投票）をした	28%	投票しなかったのはなぜですか（二つまで回答・上位4項目）	
【誰（どの政党）を選んだらいいのかわからなかったか】	選挙に関心なかった	31%	他の用事があった	22%	病気や体調不良	11%
【現在の政治に対してどの程度満足していますか】	大いに満足	0%	大いに不満	33%	やや不満	38%
【安倍内閣を支持しますか】	支持する	6%	ある程度支持する	30%	あまり支持しない	25%
【上田清司・埼玉県知事を支持しますか】	支持する	9%	ある程度支持する	44%	あまり支持しない	14%
			支持しない	7%		

【大宮区域】への移転を主張する過去を引きずっているのを受けて、同センター長の松本正教授は「年齢や世代を越えて地域差が大きい。相交わりを聞いた。近年では、自治体間のパートナーシップ制度について考えられている。同性間パートナーシップ制度を設ける動きが広がっている。同性間のパートナーに、異性間のパートナーと同等の権利を認めることに対して、どのようにお考えですか。賛成は57％、反対は13％、分からないは30％。【ツールドフランスさいたまクリテリウムをご存知ですか】知っている60％、知らない39％。さいたま市内の18歳以上の有権者千人を対象に、無作為抽出・郵送方式で8月に実施し、628人が回答（回答率62.8％）。